



諏訪湖クラブニュース NO. 7

諏訪での生活体験を活かして

諏訪湖クラブ理事
谷 辰夫

諏訪の地にお世話になって 8 年が経った。短期間であったが、この地域の恵まれた自然環境を満喫するとともに、自然と仲良く付き合っている地域の方々に混じって過ごすことができたことは、極めて有意義で貴重な経験であった。

われわれの住む地球は長い年月をかけて生態系のバランスを取りながら発展してきたと言われている。特に、わが国は自然に親しみ、自然と共生を図りながら文化を発展させてきた世界でも珍しい国である。しかし、明治以降、西洋文明の科学や技術を全面的に取り入れ、便利で快適な生活を手に入れることができたが、経済性と効率を追求した結果、地球温暖化と化石燃料枯渇化の問題に遭遇することになった。これらを解決することは 21 世紀の最重要課題の一つである。

後世の人々にとっても地球が住み良いところであるように、地球環境保全のために全力を尽くすことが必要である。そのためには、この地域の自然環境を活かした環境負荷の少ない新しいエネルギー技術の開発と、それらを取り入れたこの地域独特の社会システムを創り出すことに取り組むべきであろう。

今年は 7 年に一度の寅と申の年に開催される御柱祭の年である。2 月中旬に各地区の曳航する御柱が決まると、街のあちらこちらに張られた御柱祭のポスターや関連グッズが目につくようになり、祭りムードが盛り上がってきた。御柱祭は、自然をあがめるとともに、自然の恵みを享受する伝統的な神事である。自然と親しむ文化や伝統を大切にしながら、これらの思想と技術とを融合させ発展させていく取り組みが重要であり、今後とも諏訪での生活体験を活かして微力を尽くしていきたいと思っている。

最後に、この 8 年間多くの方々に支えられて楽しく有意義に過ごすことができた。人と人との結びつきの大切さを改めて実感し、心から感謝する次第である。



平成 22 年 御柱祭 下社木落とし

谷辰夫理事が、この 3 月で諏訪東京理科大学を定年退職されました。谷理事は当クラブにて「地域エネルギー部会」のリーダーとして、この地域の自然環境を活かした新しいエネルギー技術の開発と、そして、その先に『地域エネルギー』を活用した新しい社会システムの創出を夢見て取り組んでいらっしゃいます。諏訪の地と人々、この活動への思いについて、寄稿して下さいましたので、ニュース No. 7 の巻頭文とさせていただきます。谷理事、ありがとうございました！

「平成 22 年度 総会」のご案内

下記日程で平成 22 年度の総会と講演会を行います。今回はこの 3 月に谷辰夫理事が諏訪東京理科大学を定年退職されましたので、記念講演会後に会費制での懇親会を予定しております。同封のハガキにて出欠をお知らせください。ご欠席をお知らせ頂いた方でも、ご出席が可能になった場合には、当日お知らせ頂いてもご参加可能です。

なお、記念講演、懇親会につきましては会員以外の方もご参加可能ですので、お知り合いの方々にもお声をかけていただければ幸いです。

※諏訪湖クラブ会員の方は当日受付にて平成 22 年度会費 3000 円をいただきたいと思っておりますので、ご用意くださいます。ご欠席の会員の方には後日ご案内を差し上げますので、別途ご入金くださいますようお願い申し上げます。

※5 月 30 日同日には諏訪湖チャリティー・ウォークも企画されています（別記）。総会・講演会とは開催時間帯をずらしてありますので、ご興味のある方はそちらにも是非ご参加ください。

平成 22 年度 諏訪湖クラブ総会 次第

日時：平成 22 年 5 月 30 日 16:00～18:00

会場：ペルファイン橋場（諏訪市）

内容：

【総 会】16:00～16:30

報告事項

1. 平成 21 年度事業報告
会計報告〈監査報告〉

審議事項

1. 役員改選について
2. 平成 22 年度事業計画
予算

【記念講演】16:40～18:00

「諏訪から提案するエネルギー利用」

講師：谷辰夫理事

【懇 親 会】

（総会会場と同じです）18:00～20:00

※懇親会会費：4000 円

（当日受付でお支払ください）

出欠等連絡用ハガキを同封しましたので
5 月 10 日までにご返信をお願いします

■ 記念講演会にお出かけ下さい！ ■

『金』だけじゃない！
諏訪地域には『宝の山』が眠っている？！

太陽光

諏訪地域は日本でも有数の日照時間が長い地域だそうです

温泉熱

温泉はたゆまなく溢れ出ています

諏訪湖のメタンガス

以前は諏訪地域の各家庭で実際に使っていたんです

これまでの諏訪湖クラブ・新エネルギー部会での取り組みの経緯、内容を分かりやすく紹介していただき、諏訪地域での将来への展望を含めて、ハウス農業と新エネルギーの組み合わせによる省エネ型の創農など、具体的な提案をお話しいたします。

懇親会では、諏訪地域において実用の可能性のある新しいエネルギーに詳しい先生方とフリートークができます。

どなたにでも参加していただけます。是非お誘い合せてお出かけ下さい。

「第 21 回諏訪湖チャリティ・ウォーク」のご案内

健康のみならず、「脳トレ」になるウォーク！ 沖野外輝夫、花里孝幸、宮原裕一、の 3 先生と信大の学生さんたちと一緒に諏訪湖を観察——きっと何か発見がありますよ。さらに外国の方々との交流もできます。ご家族、お友達をさそって大勢でご参加ください！



期 日： 2010年5月30日（日） 雨天決行
集合場所： 諏訪市片倉ふれあいなぎさ、野外音楽堂
受付時間： 8：10～（予約はいりません。直接会場にご集合ください。）

行事時間： 8：30 開会式（諏訪市片倉ふれあいなぎさ、野外音楽堂）
9：00 コースA 時計廻り徒歩（諏訪市豊田、岡谷方面 釜口水門まで 約8km）
コースB 時計逆廻り徒歩（下諏訪町側 釜口水門まで 約8.5km）
岡谷湖畔公園に到着しだい各自昼食
（遅くなった人はフォーラム時でも食事できます。）
12：00 フォーラム
場 所：下浜区民センター（天竜川下流に向かって、釜口水門橋の右側）
講 演： by 伊澤智博（信州大学工学系研究科修士課程1年）
タイトル：「ミジンコは水質浄化の立役者」
すてきな賞品のでるお楽しみもあります
演 奏： by “Matsumoto Jammers”
（JALT 外国人メンバーによる楽しい演奏です）
13：30 解散
14：20 スワンにて湖畔公園出発（船で集合場所にもどる場合—**乗船無料**）
湖上からも諏訪湖を観察、初夏の薫風があなたを待っています！

参加料： 無料
持ち物： 昼食、筆記用具
その他： フォーラム時に寄付を募ります。集まったお金は諏訪湖ならびにそれを取り巻く環境の改善のための活動資金とさせていただきます。

主 催： JALT（全国語学教育学会） 信州支部 諏訪湖クラブ共催
連絡先： 金子 田美 392-0131 諏訪市湖南 6094 Tel:0266-53-7707



寄稿 南京大学での国際シンポジウムからの報告

～諏訪湖浄化が流域ガバナンスの手本となっています～

沖野外輝夫

事の発端は平成 21 年の春、ジェトロ・アジア経済研究所からの講演依頼でした。内容は、諏訪湖の浄化を進めるに当たって、住民と行政が協働することができた経緯と仕組みを説明しろ、というものでした。確かに、諏訪湖の大きさ以上の自然湖沼で、一度汚染・富栄養化したわが国の湖沼が回復しつつあるのは初めての事例です。信州大学の花里孝幸教授も同じような質問を環境省から受けていると以前から話されています。もちろん、ヨーロッパやアメリカの湖沼での回復事例はありますが、アジア地域と欧米では自然的にも、社会的にも湖沼環境に違いがあり、同列に評価することはできません。

一昨年になりますが、中国の浙江省に太湖という大きくて、浅い湖があります。太湖には以前から大量のアオコが発生していましたが、最近は以前にも増してアオコが発生し、太湖を上水源とする無錫市の水道にアオコが混入、社会問題となりました。新聞報道でご存じの方も多いと思います。中国政府もこれには驚いて遅まきながら対策に乗り出し、日本からも専門の研究者が送り込まれました。しかし、科学的、技術的には湖沼の環境改善は可能であっても、人間社会が関わっている限り、人間社会の対応が整わなくては湖沼改善を実現することはできません。

そこで近年水資源保全の課題として取り上げられているのが「流域の統合的管理」、すなわち「流域ガバナンス」です。言葉は格好良いのですが、現実にはどのようにしてその仕組みを構築するかとなると、名案がありません。そこで、諏訪湖の例を聞いてみよう、と言うことになり、冒頭の依頼となったようです。しかし、諏訪湖でも最初から「流域ガバナンス」などという手法で



取り組んだわけでもありません。そのことを承知してもらったうえで、東京まで行って諏訪湖の浄化の経緯を説明してきました。先方の関心は、いつから、どのようなことが発端で住民が諏訪湖の浄化に関心を抱き、直接積極的に関与するようになったか、という点でした。下水道計画自体は当初からあり、関係者が様々な努力をしてきました。その努力が実を結ぶためには下水道を利用する住民の意識が高くならなければなりません。現在の諏訪湖流域での下水道接続率は全国的にも群を抜いて高く、そのことが諏訪湖浄化に大きく効いています。その下水道接続率の高さと諏訪湖再生の結果が「流域ガバナンス」の必要性を示す好例です。その自然と社会と社会の仕組みこそが他の湖沼環境改善の手本となると期待されているようです。わが国でもっとも早くに汚染、富栄養化した湖の例として教科書にも登場した諏訪湖が、現在は諏訪湖流域の住民の意識と努力で改善したわが国初の事例として紹介されるようになったことを諏訪地域の一住民として誇らしく思った次第です。

そして、今度は諏訪湖浄化の経緯を中国で直接紹介してほしいとの依頼があり、平成 22 年 1 月 13 日から 17 日にかけて南京大学へ出張することになりました。シンポジ

ウムのタイトルは「中国の水汚染問題解決に向けた流域ガバナンスの構築」でした。日本からは霞ヶ浦の事例と諏訪湖の事例、アメリカからは五大湖の事例が紹介され、中国からは太湖の現状と課題が報告されました。シンポジウムの参加者は NPO 関係者と大学研究者、行政関係者でした。残念ながら市民の参加はあってもわずかなようでした。アメリカの事例はあまりにも大きく、深い湖ですので、中国の関係者にとっては日本の事例の方が参考になったようです。私は南京の研究所の人たちに誘われて、太湖に 17 年前に行ったことがあります。その時は中国の歴史上名高い、杭州の西湖を浄化するための日中共同のプロジェクトのついででした。西湖については 4 年間（1993～1996 年）中国杭州大学や杭州市の研究者と共に浄化対策を考えました。その間、中国の研究者は諏訪湖にも何度か研修に訪れ、諏訪湖のこともよく知っています。西湖の問題もアオコ対策が主要な課題で、下水道の建設はすでに始まっていましたが、結論として新たに湿地の造成と魚の放流の規制を提案したのを覚えています。その結果、現在の西湖はずいぶんきれいになっていると人づてに聞いています。太湖には当時も結構な量のアオコが発生していましたが、太湖のアオコに関して当時中国側はそれほど深刻に考えていませんでした。今回も最後の日に太湖に立ち寄り現状を観てきましたが、冬の最中ですので、当然アオコは見当たりません。西湖での提案は太湖にも生きているようで、湖内養魚の規制と水辺の改修もすでに行われていていました。太湖でも諏訪湖と同様に水辺の自然再生を目指

していますが、その結果が出るのはこれから数年はかかるのではないのでしょうか。

問題は都市排水ですが、NPO 関係者は産業排水の処理が進んでいないことについて各地からの事例を報告し、行政の厳しい監視を要望していました。諏訪湖については初期の産業排水の規制に対する産業界の協力はどのようであったかについての質問がありました。しかし、生活排水の処理に関わる下水道接続率の向上に関する取り組みは行政任せのようでした。まだまだ住民の浄化に対する関心は低いとのことでした。

中国で NPO が活発に行動していることについては日本での報道でも知ってはいましたが半信半疑でした。しかし、今回南京でのシンポジウムに参加して、彼らが真剣に、活発に行動し、発言している様子を見て、納得しました。彼らの活動の泣き所は活動資金です。その資金の多くは中央、地方の政府資金です。そのために活動が政府の意向に取り込まれやすく、政府の意向に沿わないと活動を押さえ込まれる危険性を常に抱えています。NPO で出席していた人たちのほとんどが 20 代後半から 30 代でした。彼らの将来が本当に明るいものであれば、中国の湖沼や河川の保全はもっと前進するでしょう。

それにしても、諏訪湖が日本や中国の湖沼管理の好例として紹介されるようになったのは、諏訪地域の人たちの諏訪湖に対する関心の高さと実践、そして意図せずにはあっても住民と行政が上手く協働できたことにあります。大いに自信を持って、さらに、湖沼のみならず地域の環境保全に取り組んで頂きたいと期待しています。



理事会報告

- | | |
|--------|--|
| 第 21 回 | 日 時 : H21 10 月 18 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野、高木、宮坂、金子、鴨志田、久住、事務局
内 容 :
1. 諏訪市観光サイト 諏訪 de すわ
URL : http://www.city.suwa.lg.jp/kanko/ について
2. 自然エネルギーに関する講演会の開催について
3. 諏訪湖の水生植物希少種再生マップ作成について
4. その他 |
| 第 22 回 | 日 時 : H21 12 月 20 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野、長崎、宮坂、金子、小口 (武)
内 容 :
1. 諏訪地域エネルギー計画経過報告
2. 全国一斉水質調査 2009 および
長野県河川水質調査ネットワークについての報告
3. 今後の活動計画について
4. その他 |
| 第 23 回 | 日 時 : H22 1 月 24 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : (北原さん) 長崎、宮坂、谷、金子、久住、小口 (武)
内 容 :
1. 平成 22 年度総会について
2. 諏訪地域自然エネルギー計画講演会について
3. その他 |
| 第 24 回 | 日 時 : H22 2 月 21 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野、長崎、北原、宮坂、金子、久住
内 容 :
1. 次年度事業計画について
2. 諏訪地域エネルギー協議会について
3. その他 |
| 第 25 回 | 日 時 : H22 3 月 14 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野、長崎、久住、高木、事務局
内 容 :
1. ニュースの発行について
2. 総会について
3. その他 |
| 第 26 回 | 日 時 : H22 4 月 18 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野、長崎、谷、高木、久住、北原様、事務局
内 容 :
1. 総会について
2. 次期役員候補者について
3. H22 年度 地域エネルギー部会の活動について
4. その他 |

企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局

〒392-0017 諏訪市城南二丁目 2362

TEL/FAX 0266-58-0490 E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

諏訪湖クラブニュース

No. 7

